

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	インターンシップ		
英文授業科目名	Internship		
開講年度	2009年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	奥 浩昭		
居室	東1-805		

公開E-Mail	授業関連Webページ
oku@hc.uec.ac.jp	なし

【主題および達成目標】
<p>1) 企業での実習や研修を通し、技術開発やサービスの実際への興味や関心と理解を深める。また、技術者や研究者、マネージャーとしての自分の将来を判断するための経験を得るとともに、その心構えを養う。</p> <p>2) これまで大学で培った科学技術の知識と社会で実際に必要な技術との関連や、技術開発と経済性の関係、コミュニケーションの重要性を体感することにより、近く始まる就職活動に向け職業意識を高める。あるいは、科学技術教育の意義の理解と重要性の認識を深め、大学院での研究への意欲と目的を明確にする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
なし

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業内容とその進め方】

- 1) 期間は3週間、90時間以上とする。
- 2) インターンシップ先は、自分の動機と希望職種を熟考し明確にした上で、インターンシップ担当者(共同研究センターの中野教授・本多教授・三國氏、学科の奥)と相談して決定する。研修の具体的な内容は、研修先企業の指示に従う。
- 3) インターンシップ終了後に行われる学科内報告会での報告をもって、研修の終了とする。

【授業時間外の学習(予習・復習等)】

インターンシップを経験する企業についての基礎知識を予め身につけておくこと。また研修中に受け入れ企業から受けたアドバイスを、できるだけインターンシップの期間に実行すること。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

企業での実習・研修を遂行するとともに、自身の職業意識を明確にすることが合格基準(最低達成基準)である。

実際の評価は、実施報告書の提出と学科での報告及びそれに対する質疑応答、そして企業からの報告書、に基づいて行う。

【オフィスアワー：授業相談】

- 1) 共同研究センター：適宜お訪ねください。
- 2) 奥：金曜の5限：言語自習室(F101室)で。
他の時間を希望の場合は、メールでご連絡ください。

【学生へのメッセージ】

かけがえのない大学生活は、かけがえのない人生の一ページです。卒業後のあなたの人生をかがやかせるために、あるいは、人生の光と影を知るために、インターンシップを。

【その他】

今年から「海外インターンシップ」も行われます。
積極的な参加を。